

沖縄森林管理署交渉（全国林野関連労働組合沖縄森林管理署分会）

議 事 要 旨

1 日 時 令和6年1月19日（金）17：30～18：30（60分）

2 場 所 沖縄森林管理署 会議室

3 出席者：

沖縄森林管理署

同

同

伊藤 香里 署長

木村 宏 次長

森 浩之 総括事務管理官

全国林野関連労働組合沖縄森林管理署分会

同

同

同

同

西 文彦 委員長

坂本 法博 副委員長

山口 利明 書記長

小崎 凌平 執行委員

東 泰晟 執行委員

4 交渉事項

- （1）労働安全の確保について
- （2）組織・要因の確保について

5 議事概要

- （1）労働安全の確保について

（職員団体）

沖縄防衛局から連絡のあった、手りゅう弾らしきものの亡失について経緯を説明されたい。

（当局）

1/12（金）の夕方、沖縄防衛局から連絡があり、廃棄物等調査中に手榴弾らしきものが亡失していることが判明したため、ホームページに掲載との連絡があり、1/13（土）に沖縄防衛局から内容を聞き取り、沖縄防衛局に対し安全対策と危険物の管理について強く申し入れを行った。

入林者へは情報提供を行い、入林する場合は十分注意するよう注意喚起を行った。

森林官へ電話連絡したところ、1/15（月）に請負者が試験地の下刈に着手すると言われたので、注意喚起を行い入林するよう指示をした。

1/15（月）に関係者で対応を確認した結果、沖縄北部島国有林への立ち入りは

見合わせることにし、職員や関係者へ入林しないよう連絡を行った。

(職員団体)

1/13(土)、当局から森林官に請負契約の下刈に着手するので注意喚起を指示したと言われたが、そもそも現場へは当面入林はしないよう指示すべきではなかったか。また、請負者についても請書による対応とすべきであったのではないか。

(当局)

認識不足であった。

(職員団体)

入林届出者への対応を説明されたい。

(当局)

1/13(土)、入林届出者に対しメールで注意喚起を行い、1/15(月)に入林を控えてもらうよう連絡を行った。

(職員団体)

手榴弾らしきものが見つからなかった場合の対応はどう考えているか。

(当局)

沖縄防衛局で周辺を探しているが発見されていない。
沖縄防衛局とやり取りしながら判断していきたい。

(2) 組織・要員の確保について

(職員団体)

今年度は地域林政調整官が配置されたが、昨年度は、森林技術指導官、地域林政調整官が空席で、体調不良により休みが続いている職員もいる中で、仕事はきちんと回っていると思っているのか。また、休みが続いている職員へは、しっかりと身体を治すよう当局の健康管理体制が必要ではないか。

(当局)

休みが続いている職員へは、医師に相談ししっかりと身体を治すよう指導を行っていくこととする。

また、森林技術指導官については、今年度は空席であり、会議等の対応が多くうまく回っていない状況である。当署は対外的な案件が多く、十分な対応が出来ないため、空席ポストの解消に向け総務課へ申し入れを行っているところである。

(以上)